

第 13 章	社会(歴史)	名前:	日 付	No.03
	明治 1			

[問題 1]

次の各問いに答えよ。

- (1) 岩倉使節団が派遣されたころ、政府内で高まった朝鮮を武力で開国させようとする考えを何というか。
 (2) (1)の意見は、新政府に対して不満をもつ、どのような人々の関心を海外に向けさせようとしたものか。

[解答欄]

(1) 征韓論	(2) 士族
---------	--------

[解説]

1871年(明治4) 日清修好条規
 朝鮮にも開国を求めた→朝鮮は拒否
 →西郷隆盛、板垣退助らの 征韓論
 1873年(明治6) 明治6年の政変
 帰国した大久保利通らの反対
 →西郷・板垣らが政府を去る

1871年、清との間で対等な立場で日清修好条規を結んだ。明治政府は朝鮮に対しても国交を開くことを求めていたが、鎖国政策をとっていた朝鮮はこれを拒否した。朝鮮政府は日本からの国書の中に「皇祖」など清国皇帝が使う文字があると受け取りを拒否し、さらに「日本人は西洋人と交わって、もはや禽獣(鳥や獣)と変わるところがない」と、日本公館への食糧供給も拒んで国外退去を命じた。

日本国内では、これに激高し、政府内には武力で朝鮮を開国させようという征韓論がおこった。征韓論の中心になったのは岩倉使節団が外遊している間の留守政府の中心であった西郷隆盛や板垣退助である。征韓論は士族たちの不満を外に向けるねらいもあった。しかし、征韓論は、欧米視察から帰ったばかりの大久保利通らの反対によって否定され、西郷や板垣は政府から去った。これを明治6年の政変という。

[問題 2]

次の各問いに答えなさい。

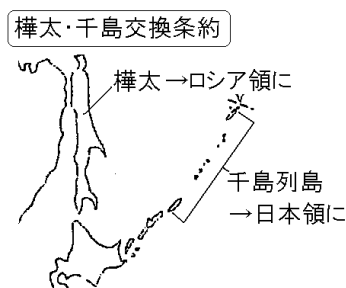
- (1) 樺太・千島交換条約は、日本とどこの国の条約ですか。
 (2) (1)の条約によって日本領となったのは樺太と千島のどちらかを答えなさい。

[解答欄]

(1) ロシア	(2) 千島
---------	--------

[解説]

1875年(明治8年)、ロシアとの間で、日本がウルップ島以北の千島列島を領有するかわりに、樺太をロシアに譲るという樺太・千島交換条約を結んだ。

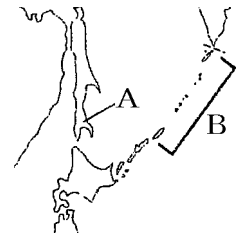


[問題 3]

1875 年、樺太・千島交換条約によって、日本が領有することになった地域は、地図中 A、B のどちらか。記号で答えよ。

[解答欄]

B



[問題 4]

1879 年、沖縄県を設置して、琉球と清との関係を断たせたことを何といいますか。

[解答欄]

琉球処分

[解説]

江戸時代 琉球は薩摩藩の支配下、清にも朝貢
 1872年(明治5) 琉球藩を設置
 1879年(明治12) 琉球藩を廃止して沖縄県を設置 **琉球処分**

江戸時代、琉球は薩摩藩の支配下におかれていたが、中国(清)にも朝貢しており、形式上は日本と中国の両方に属する形であった(薩摩藩は琉球の清への朝貢貿易の実利からこれを認めていた)。

日本は、1872 年に琉球藩をおいて政府直属とした。しかし、宗主権を主張する清はこれに抗議した。

1871 年に台湾で琉球漂流民の殺害事件が起こったが、日本は 1874 年に台湾に出兵を行った。

日本は清に対して強硬な立場をとり、日本の出兵が正当なものであることを認めさせ、賠償金を支払わせた。(これによって、事実上、清は琉球が日本の領土の一部であることを認めたことになる。)

明治政府は、1879 年に琉球藩を廃止して沖縄県を設置した。これを**琉球処分**という。

清は、これに異議を唱え、その後も日清の間で紛糾が続いたが、日清戦争における日本の勝利によって、琉球帰属問題は事実上、日本の主張通りに解決した。

[問題 5]

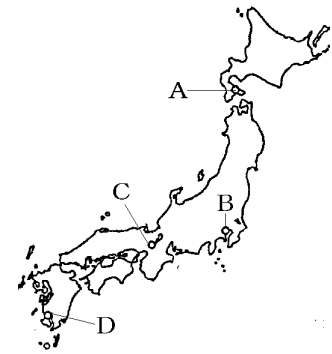
1877 年に、() 戦争が起こった。

(1) 中心となった人物は誰ですか。

(2) () にあてはまる語句を 1 つ選べ。

〔薩英 下関 戊辰 西南〕

(3) この戦争がおきた場所を右の地図から 1 つ選び、
記号で答えよ。



[解答欄]

(1) 西郷隆盛	(2) 西南	(3) D
----------	--------	-------

[解説]

士族の反乱

1874年(明治7) 佐賀の乱

1876年(明治9) 萩の乱

1877年(明治10) 西南戦争(西郷隆盛)



藩閥政治に対する士族の不満は、一方では自由民権運動を生んだが、他方では佐賀の乱(1874 年)、萩の乱(1876 年)などの不平士族の反乱をもたらした。その最大のものは、征韓論に敗れて鹿児島に帰った西郷隆盛が中心になっておこした 1877 年(明治 10 年)の西南戦争である。

士族からなる西郷軍は、戊辰戦争の経験者も多く、徴兵された農民が中心の政府軍を見下していたが、政府軍の近代的装備の前に敗れ、西郷は自殺した。西南戦争による政府軍の勝利は、武力によって政府を倒すことは不可能であることを実証したものであり、これを最後に士族の反乱はおさまった。

[問題 6]

次の文の() に適語を入れよ。

征韓論の議論に敗れた(①)は、翌 1874 年に(②)の建白書を提出した。さらに、高知県に帰って立志社をつくって(③)運動を始めた。

[解答欄]

①板垣退助	②民撰議院設立	③自由民権
-------	---------	-------

[解説]

征韓論の議論に敗れた板垣退助は、翌 1874 年に民撰議院設立の建白書を提出した。その中で、「政権は天皇にも人民にもなく、有司(役人)ににぎられている。その有司はかつてに法律をつくり、自由を圧迫している。こういう有司の専制が続く限り、国家はくずれてしまうであろう。…それを改める方法は、民撰議院を設立することである。租税を納める人民は、立法・行政に参加する権利を持っている。民撰議院こそそのための機関である。」と述べている。さらに、高知県に帰った板垣は立志社をつくって自由民権運動を始めた。

板垣退助

1873年(明治6) 征韓論→政変で下野

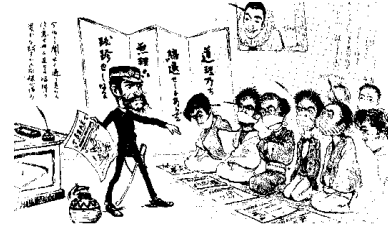
↓
1874年(明治7) 民撰議院設立の建白書

↓
高知県で 立志社 をつくり、自由民権運動
藩閥政治(長州・薩摩など)を批判

[問題 7]

右の資料を見て、次の各問いに答えよ。

- (1) 資料で口をふさがれているのは、どのような人たちか。
- (2) 資料の絵は何を風刺したものか。



[解答欄]

- | | |
|-----------------|----------------|
| (1) 民権論をとなえる新聞人 | (2) 政府による言論の弾圧 |
|-----------------|----------------|

[解説]

民権を主張する人々は新聞や雑誌で活発に政府を攻撃したので、政府は讒謗律・新聞紙条例を制定して、これを厳しく取り締まった。

[問題 8]

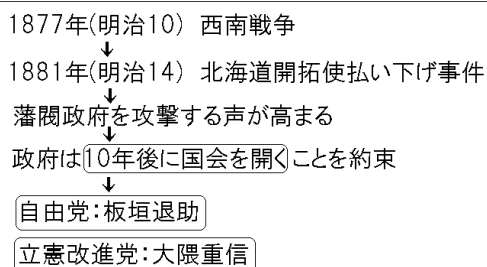
次の文の①～③に適語を入れよ。

1881 年、北海道開拓使払い下げ事件によって、藩閥政府を攻撃する声はげしくなり、政府は 10 年後に(①)を開くことを約束した。国会開設にそなえ、板垣退助は(②)党を結成し、大隈重信は(③)党を結成した。

[解答欄]

- | | | |
|------|------|---------|
| ① 国会 | ② 自由 | ③ 立憲改進黨 |
|------|------|---------|

[解説]



1877 年の西南戦争における政府軍の勝利によって、武力によって政府に対抗することはもはや不可能であることがわかったが、士族や農民の不満が解消したわけではなかった。西南戦争以降は、**国会開設**を求める**自由民権運動**にしばられるようになった。政府部内でも、欧米列強にならった強国をつくっていくためには、憲法と議会をもつ立憲政治をおこなって、国を自主的に支えようとする国民の意識を育てていくことが必要だという考えがあった。ただ、その実施時期・方法については対立があり、国会の即時開設を主張する大隈重信と、時間をかけるべきだとする伊藤博文らが対立した。

1881 年、北海道開発のために多額の国費をかけてつくった施設を薩摩出身の商人に不当に安い値段で売ろうとしたことが、国民に知れて、藩閥政府を攻撃する声が、いっそうはげしくなった。

これに対して、政府は 10 年後に国会を開くことを約束した(**国会開設の勅諭**)。同時に、大隈が民権派に情報を流した張本人とみて、大隈を政府から追い出した。

[問題 9]

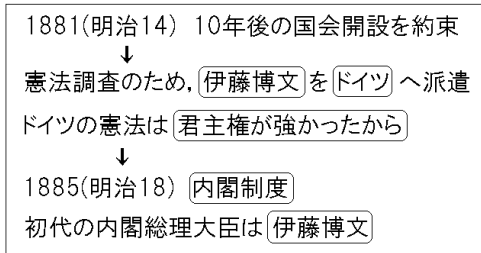
文中の()に適語を入れよ。

政府は(①)開設を約束し、憲法の研究のために(②)をヨーロッパに派遣した。(②)は君主権の強い(③)の憲法を中心に憲法の草案作成を始めた。1885 年には太政官制を廃止し、(④)制度をつくり、(②)みずから初代の(⑤)大臣になった。

[解答欄]

①国会	②伊藤博文	③ドイツ(プロイセン)	④内閣	⑤内閣総理
-----	-------	-------------	-----	-------

[解説]



国会開設にそなえて政府は、伊藤博文をドイツ(プロイセン)に派遣して憲法を調査させた。ドイツの憲法を手本にしたのは、ドイツの憲法は君主権の強い憲法でわが国の実情にあっていたからである。

(大日本帝国憲法は「大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」と天皇主権を定めている。)

1885 年、それまでの太政官制にかわって、内閣制度をつくった。初代の内閣総理大臣には伊藤博文が任命された。憲法を審議するために枢密院という天皇の相談機関がつけられた。

[問題 10]

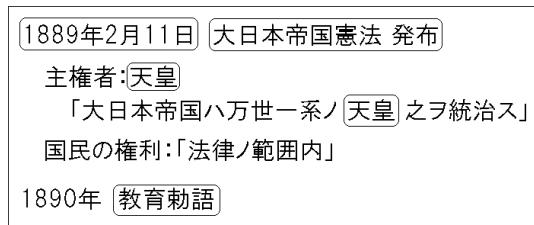
次の文の①～④に適語を入れよ。

1889 年(①)(月日)にアジアで最初の憲法である(②)憲法が公布された。(②)憲法の第 1 条に「大日本帝国ハ万世一系ノ(③)之ヲ統治ス」とあるように、(③)を主権者と定めた。(②)憲法が公布された翌年の 1890 年、忠君愛国の道徳を示す(④)が出された。

[解答欄]

①2月11日	②大日本帝国	③天皇	④教育勅語
--------	--------	-----	-------

[解説]



1889 年 2 月 11 日に、天皇が国民に与えるという形で大日本帝国憲法が公布された。大日本帝国憲法は、第 1 条に「大日本帝国ハ万世一系ノ天皇之ヲ統治ス」とあるように、天皇を主権者と定めた。

国民の権利については「法律ノ範囲内」という制限はあったが憲法で保障された。

また、天皇と行政府の権限がきわめて強いものであったが、帝国議会での予算案・法律案の審議を通じて国政に参与する道が開かれた。さらに、大日本帝国憲法が公布された翌年の 1890 年、教育勅語が出されて、忠君愛国の道徳が示され、教育の柱とされるとともに、国民の精神的、道徳的なよりどころとされた。